

União Nacional de Camponeses (UNAC)

プロサバンナ事業に関する声明

我々、モザンビークの全国農民連盟（UNAC）に加盟するナンブーラ州農民支部、ザンベジア州農民支部、ニアサ州農民連盟、カーボデルガード州農民連盟の農民は、2012年10月11日にナンブーラ市に集まり、プロサバンナ・プロジェクトに関する議論と分析を行った。

プロサバンナは、モザンビーク共和国、ブラジル連邦共和国、日本の三角事業であり、ニアサ、ナンブーラ、ザンベジア州の14郡に影響を与える約1400万ヘクタールに及ぶナカラ回廊開発のための巨大農業開発事業である。

当該プロジェクトは、ブラジルのセラードにおいてブラジルと日本の両政府によって実施された農業開発事業に触発されたものである。セラード開発は、環境破壊や同地に暮らしていた先住民コミュニティの壊滅をもたらし、今日セラードでは、単一栽培（主に大豆）の大規模な商業農業が行われている。ナカラ回廊地域は、ブラジルのセラードと類似するという気候上のサバンナ性や農業生態学的な特徴、国際市場への物流の容易さにより（当該プロジェクト地として）選ばれた。

プロサバンナ・プロジェクトについて耳にするようになって以来、本事業関係者（モザンビーク、ブラジル、日本の各国政府）からの情報と透明性の不足は顕著になっており、そのために今回の会議を持つことになった。

我々農民は、透明性が低く、プロセスのすべてにおいて市民社会組織、特に農民組織を排除することに特徴づけられるモザンビークでのプロサバンナの立案と実施の手法を非難する。

プロサバンナに関する包括的な分析に基づき、我々農民は以下の結論に至った。

- プロサバンナは、ナカラ回廊の農民自身のニーズ、展望、基本的な懸念を考慮しないトップ・ダウン式の政策の結果である。
- 我々は、モノカルチャー（大豆、サトウキビ、綿など）の大規模農業プロジェクトのためにコミュニティの移転や農民の土地を収用しようとするイニシアチブを強く非難する。
- 我々は、アグリビジネスを目的とし、モザンビーク人農民を被雇用者や農業労働者に変えるブラジル人農家の入植を非難する。
- 我々は特にプロサバンナがナカラ回廊地域の広大な土地を必要としていることを懸念している。地域の実態として、そのような広大な使用可能な土地はなく、土地は地元農民が移動耕作を実践して現在使われているのである。

プロサバンナの立案と実施プロセスにおいて顕著になったやり方を考慮し、我々農民は、次のような影響が予想されることに警鐘を鳴らす。

- 土地の収用と移転の結果、モザンビークで土地なしコミュニティが現れること。
- ナカラ回廊周辺およびそれ以外の地域における頻繁な社会的動乱の発生。